



▶「チヨースヤ」のかけ声、勇ましく

市の重要無形民俗文化財に指定されている「神島天神祭」が9月18日に行われました。千歳衆が船によつて運ばれる「御渡り」では、法被を着た担ぎ手が次々と海へ飛び込み、千歳衆を「チヨースヤ!」のかけ声とともに陸揚げしました。そして、神島自在天神の境内では威勢よく駆け出したり、千歳衆を勢いよく回したりしていました。最後はすべての千歳衆が勢揃いして境内を練り歩く「総担ぎ」。より大きな声で「チヨースヤ!!」のかけ声が響き渡り、会場に詰めかけた多くの人たちは、その勇ましい姿に大興奮していました。

◀各地で敬老会を開催

今年も9月19日の敬老の日を中心に、長寿のお祝いと日ごろの感謝を込めて市内33カ所で敬老会が開催されました。

大井地区では、かわいい保育園や幼稚園の子どもたちが踊りなどを披露した後、参加者と一緒に盆踊りで盛り上がっていました。

一方、飛島地区では、金婚式を迎えた夫婦に記念品が贈られるとともに、お孫さんたちから花束のプレゼント。その後もアトラクションなどで1日を楽しんでいました。



▶夢は大きく国体選手

国体で使用される会場でバスケットボールに親しんでもらおうと、笠岡総合体育館を会場に、8月28日にバスケットボールフェスティバルが開催されました。

スポーツ教室で練習を積んでいる小学生から、競技歴の長い社会人まで、笠岡市内と近郊のチームが集い、前後半8分のミニゲームに心地良い汗を流しました。

また、参加した選手の方々は、トップレベルのプレーが繰り広げられる、晴れの国おかやま国体の開幕が待ち遠しいようで、必ず観戦と応援に駆けつけると話していました。



◀お月さまもにっこり

9月17日、中秋の名月を愛でながら、多彩な文化や芸術を堪能する「名月観賞の夕べ」が中央公民館で開かれました。

会場には心休まるお茶席が設けられ、舞台上で長唄、詩吟、箏曲、日本舞踊などが披露されるたびに、会場は拍手の嵐に包まれ、夜空に大きく浮かぶ中秋の名月も、存分に堪能して微笑んでいました。

